

3年選択数学1 学習指導案

日 時 2005年12月20日(火) 6教時

生 徒 西中学校第3学年数学1コース

(計19名)

指導者 木 戸 潤 一

1. 題材名

(上位) 入試に出た応用問題

(中位) 3年間の基本事項の復習

(下位) 計算の復習

2. コースの特色

数学1コースは、既習事項の基礎・基本をもう一度確認したり、数学的処理を速く、正確にできるための反復練習に重点を置いて開設したところである。

実際に前期は個人差はあるものの評定が3以下の生徒が集まり、当初の予定通り補充的な内容で学習を進め、力をつけてきた生徒も少なからずいる。

ただ後期については、人数も多く能力の差も大きいため、3つの小集団に分け(自己申告制)、生徒の実態に応じた課題(プリント)を準備し学習を進めているが、効果的な習熟度別選択学習とはなっていない。

3. 生徒の英態

計19名と大所帯である。その中でも、数学が得意で高い能力を持っている生徒もいれば、小学校低学年レベルの生徒もいる。ただ大半は数学に苦手意識を持っており、何とか打開したいと思っている生徒がほとんどである。そのため、与えられた課題に対して前向きに取り組もうとする生徒が多い。

4. 題材(単元)の目標

(上位) 実践的な問題演習を通じ、数学的な見方・考え方を身につける。

(中位) 3年間の学習内容をおさえ、基本的な問題が解けるようになる。

(下位) 計算が少しでも速く、正確にできるようになる。

5. 指導計画

(上位) 単元別都道府県入試過去問題 …… 35時間 (本時10/35)

(中位) パストレ基礎基本編 …… 8時間

パストレ実践編 …… 5時間 (本時2/5)

単元別補充問題 …… 22時間

(下位) 1年時の計算練習 …… 15時間 (本時10/15)

2年時の計算練習 …… 10時間

3年時の計算練習 …… 10時間

6. 本時の目標

○ 与えられた課題に対し、意欲的に取り組むことができる。

○ 与えられた課題を解決することができる。

7. 本時の評価

	関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な表現・処理	知識・理解
上位	・与えられた課題に対し、意欲的に取り組むことができたか。	・与えられた条件から考察し証明ができる。	・条件に応じ角度計算ができる。	
中位		・文章題を方程式を用いて解くことができる。	・各種計算ができる。	・解と代入の方法がわかる。
下位			・方程式を解くことができる。	

8. 本時の展開

	生徒の活動			教師の活動	留意点 (評価の観点)
	上位	中位	下位		
導入	・本時の学習内容を確認する。		・100マス計算をする。	・上位・中位に本時の課題を知らせる。 ・下位の100マス計算の時間を計測する。	下位：処
展開	・与えられた課題に対して、自分あるいはグループで解決する。	・本時の学習内容を確認する。 ・与えられた課題に対して、自力あるいはグループで解決する。	・下位に本時の課題を知らせる。 ・期間巡視で困っている生徒に対し支援する。		各位：関 上位：処・考 中位：知・処・考 下位：処
まとめ	・解答を確認する。			・解答を配布する。	